

1. 教育の責任

• ビジュアルデザイン技法研究Ⅰ・Ⅱ

基礎レベルの学びを終え、より深くデザインの授業を学んでいく授業である。デザインの仕事のデジタル化に伴って様々な PC スキルとして特殊アプリケーションを使いこなすことが必要になってくる。デザインの基本的な色彩構成、文字構成、レイアウト技法を学ぶとともに現在のデザインでの時流に合わせた PC におけるデザイン技術を授業内容に沿って学んでいく。具体的には本の装丁ブックデザイン、DTP、WEBサイトを各々自身でテーマを定め、実制作する。(Adobe Illustrator・Adobe Photoshop Adobe InDesign)

• ビジュアルデザイン展開Ⅰ・Ⅱ

基礎レベルの学びを終え、より深くデザインの授業を学んでいく授業である。ブランディング、パッケージデザイン、ポスター、DM デザイン、WEBサイトデザイン (Adobe Illustrator・Adobe Photoshop・Adobe Dreamweaver)

• デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ

デザインの基本を(ブランディング、インフォグラフィック)等の課題を通して学んでいく、また同時にデザインツールとして必須である PC アプリケーション (Adobe Illustrator・Adobe Photoshop) の実践テクニックを身につける授業である。

• ゼミナールⅠ・Ⅱ

デザインにおける実験的な試み、教員と学生との対話で生まれるデザインという枠に縛られないクリエイションを目指す。また外部からのデザイン依頼も学生のスキルアップとして、希望する学生に取り組みの指導、サポートを行う。卒業制作展の図録デザイン、DM、ポスター等現実に印刷、出版される作成物に主体的に関わることで、学内で学ぶことができない印刷工程、印刷技術を経験する。(Adobe Illustrator・Adobe Photoshop・Adobe Dreamweaver・Adobe Aftereffect)

• 卒業制作

デザインコースの学びの集大成として、自分が学んできた技術を使い、またさらに新しい挑戦を盛り込んで、教員との対話の中で最終的な作品テーマを絞っていく、実験、失敗を繰り返し、最終的に作品が仕上がってくる。最後まで気力を保ち、提出期限に間に合うよう、自分の作品のコンセプトや完成度を落とすことなく完成に持っていくには精神的な気力と集中力が不可欠になってくる。粘り強くやりきることで達成感を得る経験、展示にて大学外の方々に見ていただくことで作品をより客観的に見つめ直すことで、卒業後も制作を続ける力やモチベーションに変換、将来の力とする。(Adobe Illustrator・Adobe Photoshop・Adobe Dreamweaver・Adobe Aftereffect)

2. 教育の理念

卒業後、どのような職業分野においても、このデザイン・造形美術分野で学んだことは活かされると考えている。

社会の一員として能動的に主体的に生きる力を養う学びであってほしい。

3. 教育の方法

教員としての目標

各々の学生の能力、長所を見極め、それぞれの成長に合わせて適切な指導を行う。

目まぐるしく変わっていくデザイン関連ツール、ハードウェア対応を、教員も常に学びを怠らないよう努め、新しい技術を学生と共有し続ける。また同時にデザイン、クリエイティブの基本的な思考、発想法、実際に手を動かすことの大切さなどの普遍的な学びを並行して伝えていく。

学生に求めること、学生に対する期待

各学生それぞれが過去の制作よりスキルアップしていることを自身で理解し、着実に力をつけていくこと。能動的に授業に参加すること。社会に自分の居場所を見つける手段となる技術を身につけて卒業すること。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：松本 尚 作成日：2024年1月5日

教育実践

課題に沿った各自の制作過程を見守り、技術的な面、創造的な面双方向からより広く可能性が広がるアイデアのヒントや技術を伝える。言語表現では難しい表現における感覚的な学び、また技術的な PC 操作等は実際に教員自身が画材や PC 操作を見せる場合もある。

技術的なスキルが必要な授業の際は毎回講義を行い、その後それぞれのクリエイションに応用を、展開を行う。

復習が必要な授業は実用書を選定し、自分が納得いくまで学び、さらにそれぞれの能力に沿ってスキルアップを図れるようにしている。

4. 教育の成果

効果が上がっていると感じている。(WEB 関連、モーショングラフィック関連)

5. 改善への努力と今後の目標

デザイン業界が目まぐるしく変わる情報社会に身を置いている技術、学びの分野であり、常に教員自身も技術的な学びが時代と並行して必要である。教え続けるということはその技術を教員自身も学び続けていかなければならないと感じている。

【添付資料】

WEB サイト制作関連資料 1 2023 年 PDF 形式 A3 10P (改訂版)

WEB サイト制作関連資料 2 2023 年 PDF 形式 A3 15P (改訂版)

解像度、拡張子、その他基本事項について 2023 年 A4 PDF 形式 5p (改訂版)

文字について 1/2/3 2023 年 PDF 形式 A3 3 枚 (改訂版)

レイアウトについて 2023 年 PDF 形式 A3 p10 (改訂版)

モーショングラフィック関連資料 PDF 形式 A3 冊子形式全 7 冊 総ページ数約 P80 (改訂版)